

# “食と農と環境を考える県民会議” 通信

“食と農と環境を考える県民会議” 通信第2号です。今回は“食の彩典”と7,8月の開催行事の特集です。

## 大きな野菜バルーンがJR米原駅東口に出現！ 2001近江のこだわり“食の彩典”～新世紀に育む健やかな食と元気な農

新世紀の幕開けである2001年に、県の北の玄関口であるJR米原駅東口広場周辺で、湖国21世紀記念事業の県事業の一環として、21世紀にふさわしい「食生活」や「農林水産業の姿」を提案し、環境にこだわったしがの「エコ農業」や「エコ文化」の創造を全国に発信するために、2001近江のこだわり“食の彩典”を開催します。

また、4県連携（福井・岐阜・三重・滋賀）に基づく食文化交流事業「農業フェスタの共同開催」の第1回としても位置づけ、4県の食文化と交流について併せて紹介します。

そしてもちろん、実りの秋ならではの新鮮な滋賀の農林水産物～美味しい近江米、近江牛、近江茶など～の展示、試食、即売がいっぱいです！滋賀県の歴史・風土に根ざした「食」がいかに大切なもので、安全で、安心で、かつ美味しいか、改めて発見していただく機会になると思います。

滋賀のエコ農業やエコ文化から21世紀の食生活や農林水産業の姿が見えます。食べ物は人間の体を作り、また、未来につながる大切なものです。食べ物と自分、食べ物と農業との距離を縮める“食の彩典”にぜひお越しください！

◆会期 平成13年10月26日（金）～28日（日）

◆時間  
26日（金） 12:00～17:00  
27日（土） 10:00～17:00  
28日（日） 10:00～17:00

◆会場 滋賀県坂田郡米原町 JR米原駅東口広場周辺

◆開催概要 ※以下の開催概要は、都合により変更等が生じる場合があります。

テーマ館：見て楽しい、触って楽しい、なるほど納得  
街道がつながる滋賀・福井・岐阜・三重のうまいもん  
昔からの知恵と技術を未来に残す～「農の匠」  
21世紀～快適エコ生活～人にも環境にもやさしい生活とは  
「環境こだわり農産物」は、どう環境にこだわっているの？  
海外で人気の「日本型食生活」vs 現在の日本人の食事情  
切っても切れない「日本人とお米」  
ハイテク・バイテク最前線～明日の農林水産業  
→テーマ館探検者に、近江の食材などが当たるクイズラリーあり！

食に触れ、食を楽しむ“食彩・健康こだわり”レストラン

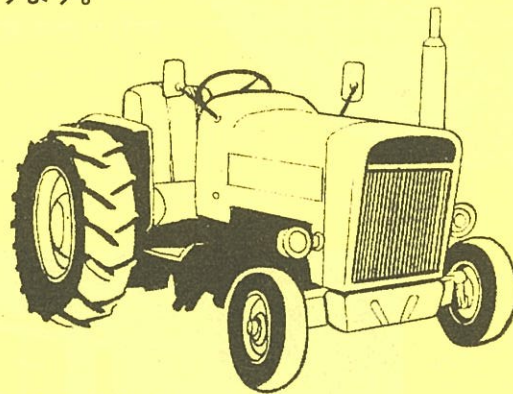
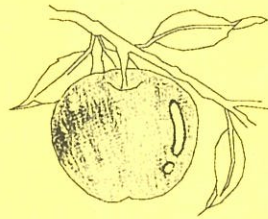
滋賀のこだわり食材を使った健康・オリジナルメニュー、レシピももらえます！

福井・岐阜・三重の名物料理・郷土料理もお目見え

・大型映像モニターで、食べながら特産品の情報も知ることができます。また、会場直撃インタビューも放映されますので、さっそく自分の目で確かめてください！

多彩な楽しい「わくわくステージ」

- ・NHKでおなじみ「忍たま乱太郎」ショー
- ・保育園・幼稚園で大人気「オウミDEダンス」をみんなで踊ろう！
- ・かわいいぬいぐるみの「チロリン村お米ミニシアター」
- ・チャンス！新鮮・お買い得・よいものGET「ステージでタイムセール」
- ・ファイナルステージ“食の彩典”大ビンゴ大会一何が当たるか？最後まで帰らないで！



フリーステージもあります！

- ・お餅まきあり！（JAレーク伊吹主催）

にぎわいゾーン：大人気体験コーナー

- ・ミニSLに乗ろう！
- ・ミニ動物園でうさぎやひつじ、ヤギ、ポニーとふれあい体験
- ・最新鋭農業機械の展示

近江米・近江牛のこだわり試食タイムーお知らせに注意、時間限定です

- ・折り紙付き環境こだわりの無農薬栽培「コシヒカリ」と「ゆめおうみ」のおにぎり  
ほんとに美味しい上に、身体にもよい、琵琶湖にもよい！1,500食をご用意  
おいしいおコメの味を知ってください
- ・近江牛3,000人様限定ー近江牛1頭分をふるまいます。  
～塩コショウで食べるお肉そのものの味わい

こだわりゾーン：お楽しみ出展ブースの数々

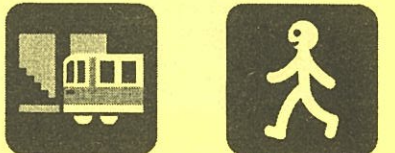
- ・滋賀の特産農林水産物が大集合！展示・体験・試食・即売、お見のがしなく！  
各地域から自慢のものをよりすぐりで。産直、新鮮・安全・安心。  
近江茶、新鮮野菜、花、果物、近江しゃも、牛乳、卵、ハチミツ、しいたけ、マイタケ、山菜、  
手作りジャム、アイスクリーム、ソフトクリーム、とちもち、草もち、和菓子、かんぴょう、漬物物、  
くんせい、みそ、手作りコロッケ、天然酵母パンなどなど書ききれません！
- ・福井・岐阜・三重の農林水産物も出展されます。お国自慢、お楽しみに！
- ・滋賀・福井・岐阜・三重の各県自慢の駅弁大集合
- ・近江の地酒、地ビールの試飲・販売！
- ・滋賀と言えばこれ、ふなずしや鮎の塩焼き、シジミ汁、イワナ、湖魚のつくだ煮、淡水真珠！
- ・県内農業高校生の手によるいっしょうけんめい農産物

◆主催 食の彩典実行委員会

◆問い合わせ先 食の彩典実行委員会事務局  
（滋賀県農政水産部農政課 企画・環境担当内）  
TEL 077-528-3812 / FAX 077-528-4880

- \*渋滞を避け、旅を楽しむため、公共交通機関でお越しください。
- \*おいしいものがいっぱいですから、つついとお買い物しても損はないと思います。大きなお買い物袋を ご持参いただき、環境のために御協力ください！（なお、有料の配送もあります）

これが「環境こだわり農産物」のめざす姿！！



編集後記：今回特集した、8月25日にサポーターの方々と見学した「環境こだわり農産物」は、農薬・化学肥料を減らし、しかも、琵琶湖に配慮して農産物を作るということで実地に見せていただき、台風や、高齢化や、安い輸入農産物等々いろんな危機にさらされながらも、よりおいしいもの良いものを作ろうとしておられる農家の姿勢に打たれました。サラリーマンも、ある意味苦労は同じかと思えます。何かしていかないと、これからは生き残れません。だったら、同じようにがんばっている人を何かの形で応援したいものです。同じ買うなら～もし、ちょっとくらい高くても～ぜひ、環境こだわり農産物を選んでください。“食の彩典”に来ていただいて、皆さんに知ってもらおうというために、がんばってくださる方々にご協力ください。また、お友達やご近所や親戚の方にも、がんばっている農家、環境こだわり農産物のことを話してもらえないでしょうか…参加して下さったサポーターの皆さんはこんな気持ちで少なからずわかって下さったのではないかと思います。できるならそんな方が滋賀県134万人いたらいいのに……美味しいものを食べたら幸せになれることってありますよね。（J）

連絡先：大津市京町4-1-1 県農政課内“食と農と環境を考える県民会議”事務局  
tel 077-528-3812 fax 077-528-4880 e-mail ga00@pref.shiga.jp お便りお待ちしております！

7月

# 食と農と環境を考える県民会議



## サマー・フォーラム

7月31日(火)、野洲文化ホールで、「食」と「農」と「環境」をキーワードに、これからの望ましい食生活のあり方や元気な農業の姿を模索していくために、「食と農と環境を考える県民会議」サマー・フォーラムを開催しました。

当日は、食料自給率の問題やこれからの農業のあり方、そして農業と環境の関係についての基調講演と、その後、大学教授や医師、生産者、消費者など、各分野で活躍されている方々によるパネルディスカッションを「健やかな食と元気な農をめざして」というテーマで行い、450人の参加者は、熱心に聞き入っておられました。参加者からの感想の一部を紹介します。



▲ パネルディスカッション「健やかな食と元気な農をめざして」(左から、堀越、生源寺、児玉、中井、長崎の各パネラー)

### 基調講演

- 食料・農業・農村基本法の理解と認識が消費者に必要であると痛感した。【大津市 Oさん】
- 食生活指針は何年か先の未来を考えて作っていることがわかった。【守山市 Tさん】
- 自然との共生、田舎と都会の融合等を考えさせられた。【八日市市 Tさん】
- 多方面から問題点を拾い上げられていて、示唆に富むものだった。【大津市 Yさん】

- 今まで考えなかった面から自給率を見た、これからはつながるいい話だった。【大津市 Oさん】
- コモンズの悲劇と環境問題が印象に残った。【彦根市 Yさん】
- 農業は息の長い産業であることを自覚した。【大津市 Nさん】

### パネルディスカッション

- 各方面での活動を新鮮に聴かせていただき、大変よかった。【野洲町 Oさん】
- 消費者がもっと関心を持ち賢くならなければいけないと思った。【野洲町 Sさん】
- 稲作のスライドを見て無農薬で作る大変さ、苦労が伺われました。【野洲町 Kさん】
- 食生活の大切さを再認識させられた。【甲良町 Kさん】
- 大変身近な内容だけに思っていること、聞きたいことが非常に多いのではと感じた。【草津市 Mさん】



▲ パネルディスカッションでの会場からの質問風景

8月

# 食と農のサポーター



## 環境こだわり農産物市場と県農業総合センター見学会

8月25日(土)に現地見学会を開催しました。当日は、残暑厳しい中、生産者やJA組合員の方々の生のお話を聞き、そして現場を見て、滋賀県農業の取り組みを体全体で感じてもらえたと思います。

また、サポーターからの積極的な質問も飛び出し、熱心に取り組んでいただきました。

最後の意見交換では、サポーター間で、一日の見学を終えての感想などを相互に話し合う

ことで、より一層意識の向上につながったことはもちろんのこと、サポーター間での仲間づくりにもなった良い機会だったと思います。

当日は、内容が盛りだくさんでしたが、それだけ得るものも大きく、たいへん有意義な見学会となったのではないのでしょうか？

それは、当日参加してくださったサポーターの皆さんの顔を見れば一目瞭然かもかもしれませんね！？



▲ 真剣に意見交換中のサポーターの皆さん(県農業総合センターにて)

### アンケート結果

- 環境こだわりほ場(水稲)について
  - 環境にやさしい農業の取り組みに努力されていて、着実に成果があがっていることがよくわかった。
  - 私たち消費者は、認証マークのついたお米を買うことで支持していきたい。
- 愛東マーガレットステーションについて
  - なたね油の先進的な取り組みが素晴らしい。
  - 長年にわたり着実に地域の特性を捉えて発展されている。これは滋賀の自慢すべきことだ。
- 環境こだわりほ場(トマト)について
  - 専業農家の神髄を見たような気がする。
  - 農業を最小限に使い、安心野菜を生産されていることがわかった。



▲ 積極的に質問するサポーター(中央)とそれに答える田井中さん(右隣)

- 県農業総合センターふれあい農業デーについて
  - ITを農業に利用していることや先端技術を知ったことは大きな収穫であった。
  - 滋賀県で実際に行われている具体的な取り組みがわかった。
  - 滋賀の農業の将来に希望が持てた。

※1 食料・農業・農村基本法… 平成11年(1999年)7月16日に公布・施行された21世紀における食料、農業および農村に関する施策の基本方針となる法律(全43条)。(しがの農林水産ビジョンから引用)

※2 食生活指針… 最近のわが国の食生活に関するさまざまな問題に対応して、国民の健康の増進、生活の質の向上および食料の安定供給の確保を図るため、平成12年(2000年)3月に、文部省、厚生省および農林水産省でとりまとめられた食生活改善のための指針。(しがの農林水産ビジョンから引用)

※3 コモンズの悲劇… コモンズとは共有地。共有地に、その村の者であれば羊を何頭飼ってもいいと想定したら、他の人に迷惑がかかっても自分一人くらいはということで、みんながたくさんの羊を放牧することになり、草だけでなく根っこまで食べられてしまい、自然の再生能力が失われてしまったということ。